

OligodendrogliaにおけるJC virus感染許容細胞の新規樹立 および特異的因子の同定

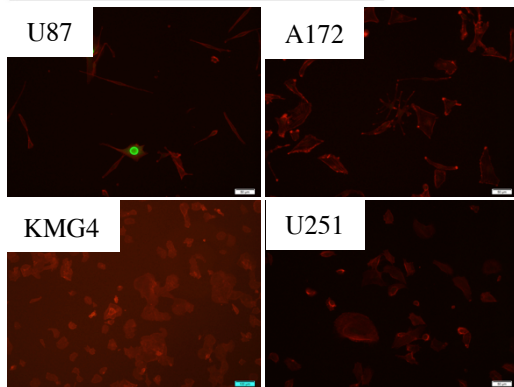
研究分担者: 北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学分野 長嶋和郎

1. JCV 感染許容細胞の検索

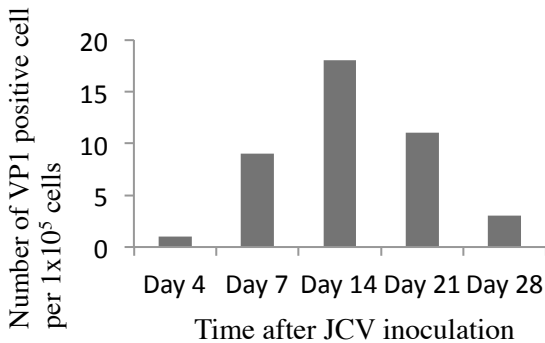
JCV接種後のGlioma細胞株における蛍光免疫染色
(抗VP1抗体)

Glioma cell lines

Oligodendrogloma cell line (1p19q co-deletion(+))
 { U87
 { A172
 Astrocytoma cell line (1p19q co-deletion(+))
 { KMG4
 { U251

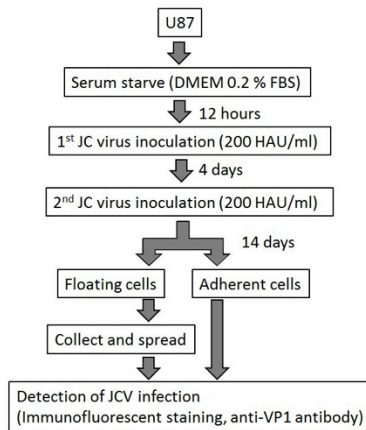


2. U87細胞株におけるVP1陽性細胞数の推移

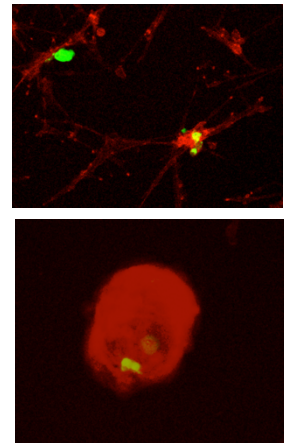


3. U87細胞株浮遊細胞収集による感染細胞増加

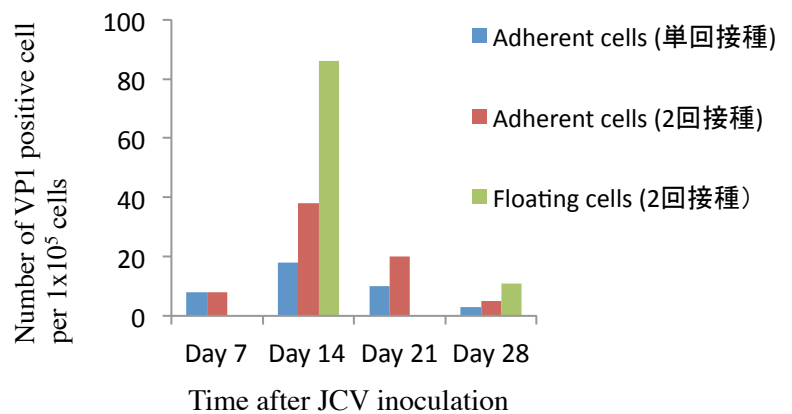
a. 実験概略図



b. 浮遊細胞におけるVP1陽性像



c. 浮遊細胞収集と通常感染との感染細胞数の比較



解説

1. Astrocytoma系およびOligodendrogloma系のヒト神経膠腫細胞株を用いたJC virus感染実験ではU87細胞株のみ維持型持続感染が確認された。
2. U87細胞株の感染細胞数の推移を示す。
3. U87細胞株にJC virusを2回接種するとJCV感染細胞数が増加し、浮遊細胞が増加する。
4. 浮遊細胞のみを収集し培養するとJCV感染細胞数が2倍以上に増加する。